

## 第3学年英語科学習指導案

### 1 単元名 Program3 A Hot Sport Today

#### 2 単元について

学習指導要領外国語編 英語(3)「話すこと〔やり取り〕」の目標として、「ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする」が挙げられている。また、(5)「書くこと」の目標として、「ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする」とある。中学校3年生は、基本的な語彙や自分の思いや考えを表現する力が身に付いており、授業では、新たな表現を増やし、正確に伝えることができるように活動している。本単元では、①call+人+名詞、② make+人+形容詞、③make+人+動詞の原形、が扱われている。文法の構造と、その文法事項を用いた表現を理解させるとともに、バスケットボールの歴史についての対話文や説明文、メール文を読むことで、スポーツの魅力や、自分にとってスポーツとはどのようなものかを考えたり共有したりする機会としたい。

本学級の生徒は穏やかな生徒が多く、授業のペア活動やグループ活動でも、教え合いながら和気あいあいと取り組んでいる。英語に対して苦手意識のある生徒も、友達と助け合いながら授業に参加している。一方で、自信のなさからか、授業中の発言は少なく、全体での学習では意見が出ないことがしばしばある。また、書くことを苦手とする生徒が多い。

そこで本単元では、即興でのやり取りを楽しむことや書く活動にスムーズに取り組むことができるように、二つの手立てを考えた。一つは、ペア活動の工夫である。新出表現の導入時に、ペアで相談したり、繰り返し話す活動に取り組んだりすることで、学び合いを促進し、即興でのやり取りの活性化につなげたい。もう一つは、生徒が話す活動で十分に新しい文法事項に慣れた後、書く活動に移行するという授業構成の工夫である。書くことを苦手としている生徒は「何を、どう書いたらよいか分からない」ことが多いと考えられる。そこで、ペアで話した内容を書くこととし、書く内容を明確にすることで、自信をもって活動に取り組ませたい。以上の二つの手立てを通して、英語で意欲的に伝え合ったり、伝えたい内容を正確に書いたりする力を育てたい。

#### 3 研究主題との関連

主体的に学び、他者との協働により自らの考えを深化させる生徒の育成  
—問題解決的な学習過程における書いて考える活動の工夫—

- ・ペア活動を多く取り入れることで、学び合いを進め、自信をもって活動に取り組めるようにする。
- ・多様な考えをもつ他者との対話を深められるような課題を提示し、活動の場面を設定することで、主体的な学習を促す。

#### 4 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度
〔やり取り〕 話すこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「make+人+形容詞」の表現の特徴やきまりを理解している。</li> <li>・表現を活用する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを動かすものについて、適切な表現を用いて、伝え合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを動かすものについて、意欲的に伝え合おうとしている。</li> </ul>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「make+人+形容詞」の表現の特徴やきまりを理解している。</li> <li>・表現を活用する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを動かすものについて、適切な表現を用いて、書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを動かすものについて、意欲的に書くようとしている。</li> </ul>

#### 5 全体計画 (全8時間)

- (1) 「call+人+名詞」、「make+人+形容詞」、「make+人+動詞の原形」の意味・用法を理解し、それを用いて話したり、書いたりすることができる。 …… 3時間 (本時2/3)
- (2) バスケットボールの成り立ち等について読み取ることができる。 …… 3時間
- (3) バスケットボールについて伝えるために、写真等を示しながら概要を話すことができる。 …… 1時間
- (4) 相手に、気持ちを動かすものについて伝えることができる。(パフォーマンステスト) …… 1時間

6 本時の学習

(1) 目標

- ・「make+人+形容詞」を用いて、自分の気持ちを動かすものについて友達と伝え合った内容を、書いて表現することができる。 [思考・判断・表現]
- ・自分の気持ちを動かすものについて友達と意欲的に伝え合おうとしている。 [主体的に学習に取り組む態度]

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点 ◆評価〈方法〉 ※「努力を要する」状況と判断する生徒への手立て	配時
<p>1 対話活動 (QA) を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で楽しく話す雰囲気を作る。</li> <li>・意欲的に取り組めるよう、質問の仕方や答え方のバリエーションを変える。</li> <li>・机間指導を行い、よいところを紹介する。</li> </ul>	10
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>「make+人+形容詞」を用いて、自分や人の気持ちを動かすものについて伝え合おう</p> </div>		
<p>2 学習課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の気持ちを表す形容詞を復習する。</li> <li>・悲しそうな表情の写真を提示し、どうすればうれしい気持ちになれるか案を出し合う。</li> </ul> <p>T : What will make him happy? S : His friends. T : I think his friends will make him happy.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「make+人+形容詞」の用法を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Program1 で復習した単語を、ノートやワークシートで確認するよう促す。</li> <li>・初めは単語で発言してもよいことを伝え、徐々に英文で発言できるようにする。</li> <li>・数名に発表させ、英文の作り方を全体で確認する。</li> <li>・板書にまとめ、文法の意味と用法を確認する。</li> </ul>	15
<p>3 自分の気持ちを動かすものについて、ペアで対話する。</p> <p>A : What makes you happy/sad/excited...? B : Watching anime makes me happy.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションソフトを用いて、テンポよくパターンプラクティスを行う。</li> <li>・テーマを変えながら様々な英文を作ることで、新出の文法に慣れるようにする。</li> <li>・テーマごとに数人ずつ発表し、英文を共有することで表現の幅を広げる。</li> </ul>	5
<p>4 インタビュー活動を行う。</p> <p>A : What makes you happy / sad / excited...? B : Reading books makes me happy. A : Why? B : Because...</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1問1答で終わらずに問い返す質問をしてみるよう助言する。</li> <li>・できるだけ多くの友達と対話するよう促す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆主体的に学習に取り組む態度〈観察・ワークシート〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを動かすものについて、意欲的に伝え合おうとしている。</li> </ul> </div>	8
<p>5 インタビュー内容について報告文を書く。</p> <p>Listening to music makes Seiko excited. She likes YOASOBI very much. She listens to their songs every day.</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◆思考・判断・表現〈ワークシート〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー結果について、学習した表現を用いて、書いて表現することができる。</li> </ul> </div> <p>※報告文を例示し、苦手な生徒も例示の英文を参考に、書く活動に取り組めるようにする。</p>	7
<p>6 学習を振り返り、自己表現カードを記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ多くの自己表現の英文を書くよう伝える。</li> </ul>	5

(3) 視点

ペア活動や授業構成の工夫は、生徒が意欲的に伝え合い、書いて表現するための手立てとして有効であったか。